※令和４年度以降入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護過程	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「介護過程」　（実教出版）						
副教材等	「介護職員初任者研修テキスト」（ＱＯＬサービス） 「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

サービス利用者一人ひとりが自立した心豊かな生活が送れるよう支援するための介護過程について学び、施設実習を通じて実践力を高めていきます。２年生では、主に介護過程の一連の流れを学ぶことで、介護福祉士として必要な基本的な介護技術、知識を身に付けます。

①サービス利用者主体の介護過程の展開に興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②２年福祉科目の授業のなかで介護職員初任者研修課程を実施し、資格取得をめざします。

③国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

2　学習の到達目標

福祉の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，介護過程の展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目標とします。

①介護過程について体系的・系統的に知識を理解するとともに、関連する技術を身に付けます。

②介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。

③健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を養います。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自立生活の支援について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	健全で持続的な社会の構築をめざして自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	介護職員初任者研修課程	【介護職員初任者研修課程】 6　老化の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者と健康	a:高齢者によくみられる疾患や症状について、様々な資料や情報を適切に活用して理解している。 b:老化に伴うこころやからだの変化について思考を深め、適切に表現している。 c:高齢者の介護計画を作成するにあたり、高齢者の健康について関心をもち、老化に伴うこころとからだの変化について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察
		7　認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	a:認知症に関する４つの疾患について理解している。 b:認知症利用者の気持ち寄り添うケアについて思考を深め、適切に表現している。 c:認知症利用者の介護計画を作成するにあたり、認知症について興味や関心をもち、認知症ケアの理念について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察
		③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	a:認知症の中核症状や周辺症状について、様々な資料を活用して基本的な知識を身に付けている。 b:認知症利用者の家族の気持ちへの思考を深め、援助方法を適切に表現している。 c:認知症に伴うこころとからだの変化に関心をもち、日常生活の課題について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 ﾜｰｸｼｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	介護職員初任者研修課程	【介護職員初任者研修課程】 9 こころとからだのしくみと生活支援技術 ⑬介護過程の基礎的理解 ⑭総合生活支援技術演習	a:介護過程の展開について、一連の流れを理解し、事例問題から、利用者の様々な情報を読み取り、適切に分析することができる。 b:事例問題を通じて、利用者の気持ちに寄り添うケアについて思考を深め、そのニーズを適切に表現している。 c:利用者が生きがいをもてる生活について興味や関心をもち、介護過程の意義や目的について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察
		10 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修終了後における実例	a:介護福祉の専門職として、必要な資質と専門的な知識や技術について理解している。 b:根拠に基づいた介護を実践するにあたり、介護過程の重要性について適切に表現している。 c:介護福祉の専門職として、利用者主体の介護を実践しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察
	第1編 介護過程の意義と目的	第1編 介護過程の意義と目的 第1章 介護過程がめざすもの 1 生活支援と根拠に基づいた介護 2 介護過程の意義 3 介護過程の目的・基本視点	a:介護過程の意義や目的、介護過程を展開するための基本的な視点を理解している。 b:根拠に基づいた介護の重要性について思考を深め、適切に表現している。 c:利用者の生活に興味や関心をもち、生活課題の解決に向けた介護過程の意義や目的について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察

※令和４年度以降入学生用

	第2編　介護過程の展開	第2編　介護過程の展開 第1章　情報収集とアセスメント 1　アセスメント 2　情報収集 3　情報の解釈・関連づけ・統合化 4　課題の明確化 5　情報の記載の方法	a:アセスメントの一連の流れや情報の記載方法について理解し、利用者の情報収集、情報の解釈、関連づけ、統合化することにより課題を明確化する技術を身に付けている。 b:利用者の情報収集の方法について思考を深め、収集した情報を適切に解釈、関連づけ、統合化することができる。 c:アセスメントを実施するにあたり、利用者の情報を収集するための視点や主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察
		第2章　生活課題と目標の設定 1　目標の設定 2　目標の共有化	a:目標設定の留意点について基本的な知識を理解し、利用者のニーズに応じた目標を設定するために、様々な資料や情報を適切に活用することができる。 b:利用者の心身状況や環境、ニーズに応じた目標を考察し、適切に提案することができる。 c:利用者の生活に興味や関心をもち、生きがいのある生活に向けた目標の設定について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察
3学期	第2編　介護過程の展開	第3章　介護計画の立案 1　介護計画の概要 2　個別介護計画の立案	a:個別介護計画の立案に向けて、計画表の記入方法など基本的な知識を理解し、様々な資料を活用することができる。 b:利用者の心身状況や環境、ニーズに応じた個別介護計画について考察し、適切に提案することができる。 c:利用者の生活に興味や関心をもち、生きがいのある生活に向けた個別介護計画の立案方法について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート ワークシート	ワークシート 提出ノート 観察 発表

※令和４年度以降入学生用

		第4章　介護計画の実施と評価 1　介護計画の実施 2　介護過程のモニタリング・評価	a:介護計画の実施、モニタリング、評価の意義や重要性について理解している。 b:介護計画の評価結果について考察し、よりよい介護計画に向けて介護計画の変更・修正を提案することができる。 c:介護計画の実施について関心をもち、効果的な介護計画になるための留意点について探究しようとする主体的な態度を身に付けている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	 ﾜｰｸｼｰﾄ 提出ﾉｰﾄ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度